

「いやいや！」をし始める時期です

自分を意識する気持ち（自我）が芽生え始め、「ジブンで！」と自己主張し、おとなの言葉に、ひとつひとつ反抗するような場面が多くなります。たとえば、用意された靴下を「イヤ！」などと放り投げることもあるかもしれません。そうした時に、「言うことを聞きなさい！！」と抑えつけてしまうと、その後、しっかりした自我（自分が自分らしくいられる気持ち）を子ども自らが育てていくための意欲が育ちにくくなることもあります。可能な範囲で子ども自身に任せつつ、おとなが手助けしていくようにしていきましょう。

（イヤイヤ期は2歳にピークを迎え、だんだん落ち着いていきます。）

☑チェック
してみよう

ご家庭ではこんなことに配慮しましょう

子ども自身が「自分で決めた！」ように話を進めてあげると、思いのほか、素直に受けとめるものです。子どもが味わいたいのは、“主人公は自分”という気持ちです。

- 忙しい朝の時間帯に身支度などに「イヤ！」となったら、子ども自身に選ばせてみましょう。

例えば、靴下を2足出して、「どっちがいい？」など。すると、「選んだのは自分」という実感から、満足してくれるかもしれません。「自分で選んだ」という気持ちを味わい、意欲が育っていくよう、時間にゆとりを持って、待つことを大切にして関わっていきましょう。

- 「泣かないの！」「怒らないの！」と、子どもの感情にふたをしないようにしましょう。頭ごなしに叱ると、子どもは「行動が否定された」「自己主張してはいけないんだ」と思ってしまいます。

- スーパーなど公共の場で「イヤだ！！」を連発するような時は、子どもの気持ちを尊重しつつ、「ダメなものはダメ！！」と社会のルールをしっかり伝えていきましょう。また、危険がないように見守りつつも、そっとしておくことも一つの方法です。「じゃあ今日だけだよ」と子どもの言いなりにならないようにしましょう。



保育所で気をつけていること

- ※ 「イヤイヤ期」は、自我が芽生える、すばらしい時期と捉えています。一人ひとりの自己主張をしっかりと受けとめ、気持ちに寄り添いながら保育しています。
- ※ 「ダメ！」と否定的な言葉で注意するのではなく、子どもが何を思ってイヤイヤしているのかなと注意深く観察し、まずはその気持ちに共感し、代弁しています。子どもがやがて、気持ちを表現できるようになっていくと、徐々にイヤイヤが減っていきます。

＜イヤイヤにも様々な理由があります！！＞

イヤイヤの理由を探って、その気持ちを言葉にして共感してあげてください。

「自分の気持ちが分かってもらえて嬉しい」という思いから、気持ちの立て直しがしやすくなりますよ。

☆言葉の理解が未熟だから

気持ちを上手く言葉で伝えられず、「イヤ」で表現することも…

☆親の反応が嬉しいから

反応してくれるのが嬉しくて、わざと親が嫌がる事をするかも…

☆思うようにならないから

自分のイメージと現実のギャップから、「イヤ」とかんしゃくを起こすかも…

☆体調が悪いから

もしかしたら体調が悪いのかも。気持ちのコントロールができずイヤイヤしているのかも…

☆したくないことが待っているから

「まだ寝たくない」「お風呂に入りたくない」など、嫌なことが待っているとイヤイヤを始めることも…

☆かまって欲しいから

かまって欲しいからと、注意を引こうとわざとイヤイヤすることも…

かんたん手作りおもちゃ

洗濯バサミあそび



＜準備物＞

- ・洗濯バサミ
(指先の力に合ったもの)
- ・洗濯バサミをはさむ台紙
(ダンボールなど)

指先を使えるようになる時期にピッタリ。指先で洗濯バサミを開き、台紙にはさみます。指先の力や発達を促すのにもいい遊びです。洗濯バサミ同士をつなげていくのもおもしろいですよ！

手作りシャワー



穴あける場所や大きさ、数などで水の出方が変化します。お風呂での楽しみが増えれば、自分から「はやくお風呂に入りた～い！！」なんて思うようになるかもしれませんよ！

お風呂イヤイヤさんにおススメ！！

- ・好きな長さに切ったペットボトルや牛乳パックにキリで穴をあける
- ・手を切らないように切った淵にテープを貼って、ひもを付ければできあがり。

《わらべうたあそび》～おもちゃがなくてもあそべるよ～

♪おすわりやす♪

①おすわりやす いすどっせ あんまりのったら

※足を伸ばして座り、子どもを乗せて、上下に揺らす

②こけまっせ

※歌の最後で足を開き、子どもは尻もちをつく

(言葉の意味) おすわりやす=座ってください
いすどっせ=椅子です
こけまっせ=転びます



1人2人と、足に乗せる子どもの数を増やしていくわらべうたでもあるので、兄弟も一緒に楽しめますよ♪



《読み聞かせにいかがですか？》

「いやだいやだ」 福音館書店
主人公のルルちゃんは、なんにでも「いやだいやだ」と言います。イヤイヤ期の子どもと一緒に読みたいユーモラスな絵本です！



「もじゃもじゃ」 福音館書店
「もじゃもじゃ」していたものが綺麗に整えられる様子を描いたお話です。「もじゃもじゃ」という語感やその変化が楽しい絵本です。

